

## 第1回分科会(市民分科会・事業者分科会)概要

【日 時】 令和2年11月10日(火)

市民分科会:13:00~14:45 事業者分科会:15:00~17:15

【場 所】 流山市役所第2庁舎3階306会議室

【出席者】 別紙「出欠表」のとおり

【概 要】 それぞれの分科会において事前にお問い合わせしたアンケートを基にそれぞれの分科会で次のテーマについて議論した。

(市民分科会)

- ・ あると便利だと思う公共交通サービスについて
- ・ 市内の公共交通の利用について

(事業者分科会)

- ・ 市内における事業の継続性について
- ・ 市内において需要が見込まれると考えられる地域について
- ・ 事業者間連携について
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響と今後の見通しについて
- ・ 公共交通の利用促進のための方策について
- ・ 民間サービスと公的サービスの役割分担について

(市民分科会)の議事録は別添のとおり

(事業者分科会)の議事録は、各事業者の経営情報が含まれている為、非公開とされたが、主な論点は以下のとおり

- ・ 新型コロナウイルスの影響で、公共交通の利用者は大きく減少している。→アフターコロナを踏まえ、利用者を戻す施策を検討して行く必要がある。
- ・ 流山ぐりんバスの公的サービスの在り方について検討が必要。→税金が投入されている流山ぐりんバスの料金と、民間路線バスの料金格差を見直すとともに、公的サービス導入の際のルールづくりを検討していく。
- ・ 交通不便地域の基準を明確にするため、市内のニーズの高い目的地を挙げ、現状の各地区からの交通サービスを把握し、本協議会で不便な所を便利にする方策を検討していく。→交通不便地域に対して、公共交通施策を検討し、全体の外出機会を増やし、公共交通を全体的に充実させることを目的とする。合わせて、各事業者間の連携(ゾーン運賃制・乗り継ぎ割引)や、駅やバス停の待合スペースの充実など、出かけることが楽しくなる施策を検討していく。
- ・ 公共交通の大きな課題として人手不足がある。

以上

事務局の見解

令和2年度第1回分科会(令和2年11月10日開催)出欠表

流山市地域公共交通活性化協議会委員名簿

| 要綱   | 組織名                           | 部署名  | 役職               | 委員名                | 市民分科会 | ※委員の氏名 | 出欠 |
|--|-------------------------------|--|------------------|--------------------|-------|--------|----|
| 学識経験者  | 名古屋大学                         | 大学院環境学研究科 附属持続的共<br>発展教育研究センター 臨床環境学<br>コンサルティングファーム部門 地<br>域戦略研究室 | 教授               | カトウ ヒロカズ<br>加藤 博和  | ○     | ○      | ○  |
|  | 日本大学                          | 理工学部交通システム工学科<br>交通環境研究室   | 教授               | アジイ タカロ<br>藤井 敏宏   | ○     | ○      | ○  |
| 関係公共交通事業者、一般乗合旅客<br>自動車運送事業者その他の一般旅客<br>自動車運送事業者及びその組織する<br>団体 | 京成バス株式会社                      | 営業部  | 部長               | ミウラ ヒロキ<br>三浦 裕樹   |       | ○      | ○  |
|  | 東武バスイースト株式会社                  | 運輸統括部 業務課  | 業務課長             | ムトウ カズヒコ<br>武藤 一彦  |       | ○      | ○  |
|  | 東武バスセントラル株式会社                 | 運輸統括部 業務課  | 業務課長             | フカツ コウイチ<br>深津 光市  |       | ○      | ○  |
|  | 松戸新京成バス株式会社                   | 営業部  | 取締役営業部長          | ナカジマ サタル<br>中嶋 貞治  |       | ○      | ○  |
|  | 流鉄株式会社                        | 鉄道部  | 執行役員鉄道部長         | キタハラ コウジ<br>北原 幸治  |       | ○      | ○  |
|  | 東日本旅客鉄道株式会社                   | 東京支社 総務部企画室  | 企画調整課長           | シオノヤ コウジ<br>塩ノ谷 浩司 |       | ○      | ○  |
|  | 東武鉄道株式会社                      | 鉄道事業本部 計画管理部   | 課長               | コタキ マサカズ<br>小瀧 正和  |       | ○      | ○  |
|  | 首都圏新都市鉄道株式会社                  | 経営企画部  | 推進役              | オホタハラ アツシ<br>大田原 淳 |       | ○      | ○  |
|  | 一般社団法人千葉県バス協会                 |  | 専務理事             | ナリタ ヒトシ<br>成田 斉    |       | ○      | ○  |
|  | 一般社団法人千葉県タクシー協会               |  | 専務理事             | ツチキ シノブ<br>土屋 信乃夫  |       | ○      | ○  |
|  | 流山地区タクシー運営委員会<br>(富士タクシー株式会社) |  | 副会長              | ススキ マサヒサ<br>鈴木 政久  |       | ○      | ○  |
|  | 流山地区タクシー運営委員会<br>(流山タクシー株式会社) |  |                  | ホンヤマ マカシ<br>細山 高史  |       | ○      | ○  |
| 流山地区タクシー運営委員会<br>(エミタタクシー柏株式会社)                                |                               |  | マエダ ヒロシ<br>前田 浩至 |                    | ○     | ○      |    |
| 運転者が組織する団体   | 東武バス労働組合                      | 西柏分会   |                  | タケナミ カズミチ<br>竹浪 一導 |       | ○      | ○  |
| 公共交通利用者(流山市民)  |                               |  |                  | ケンシ ユキノ<br>郡司 幸乃   | ○     |        | ○  |
|  | 流山市身体障害者福祉会                   |  | 会長               | ウメキ クニヒコ<br>梅木 國彦  | ○     |        | ○  |
|  | 流山市老人クラブ連合会                   |  | 会長               | イシハタ フミヨシ<br>石幡 恒美 | ○     |        | ○  |
|  | 流山商工会議所<br>(株式会社HOPPE)        |  |                  | サワタ ヨシオ<br>澤田 良雄   | ○     |        | ○  |
|  | 流山市観光協会                       |  |                  | シカ シンイチ<br>志賀 進一   | ○     |        | ○  |
|  | 流山市社会福祉協議会                    |  |                  | イシタリ イサミ<br>石渡 烈人  | ○     |        | 代  |
|  | NPOながれやま子育てコミュニティなごっ<br>こ     |  | 代表理事             | タナカ ユミ<br>田中 由美    | ○     |        | ○  |
| 道路管理者  | 千葉県東葛飾土木事務所                   |  | 調整課長             | ニシガタ タカユキ<br>西潟 敬幸 |       |        |    |
| 地方運輸局長   | 国土交通省                         | 関東運輸局交通政策部   | 交通企画課長           | イタカキ ユカリ<br>板垣 友圭梨 |       |        |    |
|  |                               | 関東運輸局千葉運輸支局  | 首席運輸企画専門官        | シバ スズ<br>斯波 恭太郎    |       |        |    |
| 関係行政機関   | 千葉県                           | 総合企画部交通計画課   | 企画調整班長           | ワタナベ アキラ<br>渡邊 彰   |       |        |    |
|  | 千葉県流山警察署                      | 交通課  | 課長               | ヤマザ タケヒロ<br>山谷 越弘  |       |        |    |
| 流山市  | 土木部                           |  | 部長               | イシイ キクジ<br>石井 菊次   |       |        |    |
|  | まちづくり推進部                      |  | 部長               | イシノ ショウゴ<br>石野 升吾  |       |        |    |

※本名簿はいただいた承諾書に基づき作成しておりますので、部署名や役職について記載されていない場合がありますので、ご了承ください。

※敬称は省略させていただきます。

※流山市の他の部長職は、次回からオブザーバー、庁内検討会議委員といたします。

○ 出席  
/ 欠席

令和2年度流山市地域公共交通活性化協議会 第1回分科会（市民分科会）

【日時】 2020年11月10日（火）13:00～14:45

【場所】 流山市役所第2庁舎3階306会議室

【資料】 資料1：流山市地域公共活性化協議会 第1回市民分科会  
市民分科会に関するアンケート結果

参考資料1：流山市 地域公共交通活性化協議会分科会規約

参考資料2：流山市地域公共交通活性化協議会委員名簿

参考資料3：流山市内公共交通ネットワーク図

参考資料4：市内公共交通における割引等サービスについて

参考資料5：第2回協議会資料5（抜粋）

～議題に入る前に、事務局（流山市）から本分科会の規定について説明を行った。～

【議題第一】流山市地域公共交通網形成計画策定調査業務に係る調査検討内容について  
事務局から、資料1を用いて「市民分科会に関するアンケート結果」の説明を行った。

[委員会における意見 議論]

加藤会長（名古屋大学）

追加意見はあるか。

直井委員代理（流山市社会福祉協議会）

産気づいた際に、タクシーに断られることが多い。周辺では北柏タクシーが子育て支援タクシーを導入している。流山市ではそのようなサービスがないので、導入してほしいという声がある。

加藤会長（名古屋大学）

全国子育てタクシー協会のアドバイザーをしているが、流山市は確かに手薄である。ただし、子育て支援タクシーを実施してもタクシー料金しか取れないので、赤字のサービスである。流山で実施するためには、日頃からタクシーを使ってもらえるような宣伝支援が必要である。

田中委員（ながれやま子育てコミュニティ なこっこ）

この件については、私たちの団体でもよく話題になる。子育て支援タクシーはどのような点で赤字なのか。

加藤会長（名古屋大学）

タクシー事業としてサービス自体にお金を取るのは難しく、研修や準備に時間もお金もかかる。タクシーを身近に感じてほしい事業者は積極的に実施するが、このサービスの実施をお願いすることだけでは難しい。

郡司委員

北柏タクシーの営業エリアには東京慈恵会医科大学付属柏病院がある。身近に病院があるエリアのタクシー会社は導入しやすいのではないかと。

加藤会長（名古屋大学）

東京慈恵会医科大学付属柏病院は先程の話と関係あるのか。

郡司委員

産婦人科が入っている。

加藤会長（名古屋大学）

設問1などを見ると実施したほうがいい施策が並んでいるが、全部はできないので取捨選択が必要となる。特にここが大事だというものはあるのか。

澤田委員（流山商工会議所）

高齢者が商店街で食べ歩きや買い物をしてほしいが、自助・共助については、家族構成等の問題で困難となってきている。公助として、どのようにすれば来てくれるのかが重要である。商店街を周遊するバスなどがほしい。

また、商店街に駐車場、駐輪場がない。駐車してよいところは指定してほしい。

加藤会長（名古屋大学）

現在の公共交通網の場合、特にどこが弱いエリアか。

澤田委員（流山商工会議所）

駅から距離が離れた住宅地はそのような場所が多いのではないかと。例えば、江戸川台では、駅から離れた場所まではグリーンバスなど交通機関がないところがある。データとして持ち合わせていないのであくまでも一例だが。

加藤会長（名古屋大学）

あくまで一般論であるが、そのような場所ではあまり需要はない。いくつか理由は考えら

れるが、バスの運行本数を考えれば歩いた方が早かったり、バスの行先に行きたい店がないなどが挙げられる。今の話を聞いていると、タクシーが少し安く使えればよいというように聞こえる。タクシー料金の差額分を出すなどの仕組みがあり、その場合お金がかなりかかってくるが、全国的には市だけでなく商店街からも補助する場合がある。

#### 澤田委員（流山商工会議所）

お金がある人はそのようにタクシーを使えばいい。ただし、お金が払えない場合は家の近くまで来るような交通機関があるといい。特に高齢者は今まで行っていた馴染みのある商店街で買い物ができるといい。それを公助で考えてほしい。

#### 加藤会長（名古屋大学）

今回、公助と決めたわけではなく、自治会や商店街が自らやってもいい。

なお、現在ない交通はなくても問題なく生活でき、できてもあまり使われない。ただあつたらだんだん使われてきて、無くてはならないものになる、というような種が欲しい。皆さんのご意見がそのようなものなのか教えてほしい。

#### 志賀委員（流山市観光協会）

ぐりーんバスなどの公共交通の採算はどのようになっているのか。誰も乗っていないバスを見かけることもある。

#### 事務局（流山市）

流山ぐりーんバスは市内6ルートあり、運行の基準として収支率が50%以上として運行している。昨年までは概ね収支率が50%以上となっているが、今年度はコロナウイルスにより、収入は減っている。

#### 志賀委員（流山市観光協会）

アンケートで要望しているところは、おそらく収支率が50%以下と見込んでおり、要望しても作ってくれないということが分かった。

#### 加藤会長（名古屋大学）

それだけではなく、流山市の場合、道が狭いところがあるため、物理的にバスルートを引きけない箇所がある。その場合、小型車両の導入という話になるが、乗り残しという問題等も出てくる。バスが空いているとのことだが、全ての時間帯がそうではない。また、大きな車両が空で走っているのはもったいないので、小型車両で走ってはどうかという指摘もあるが、費用に関しては、バスは人件費の割合が大きく、車両サイズはあまり関係ない。そのようなことを考えたときに大きな車両が必要なところは流山ぐりーんバスを導入してきたが、

それだけでは流山市は便利にならないので、もう少し小さな車両を入れて、細街路を回ったり、停留所ではないところでも停車できるようにする等を考えるのがこの協議会の趣旨でもある。

まとまった需要がある場所や今あるルートでも別のところを走ったほうが良いなどあれば話をしてほしい。

#### 志賀委員（流山市観光協会）

バス停のない地点で停まることは可能なのか。

#### 加藤会長（名古屋大学）

通常はバス停でなければ停車できないと道路交通法で規定されているが、自由運行については公安委員会が承認すれば可能である。しかし、流山市では難しい。急に停まったり、横断歩道の近くに停まると事故になるからである。ただし、流山市にバス停を新たに置けない場所が多い。道路整備をすれば置ける場合や民地ならば置けるというケースはあるので、全くできないと考えることはないが、どこでも置けるという話でもない。

#### 郡司委員

東部地区の住民であるが、一番気になるのは北部の交通である。以前は東深井中学校の前にもぐりーんバスの停留所があったと思うが、現在は無くなっている。理由は何か。

#### 事務局（流山市）

当時利用者がほぼいなかったため、現在のルートに変更になった。

#### 加藤会長（名古屋大学）

東部地区はよく行くので問題点等も把握しているが、北部地区は江戸川台周辺は先日歩いたものの、問題点等までは把握しきれていない。市としてはどう考えているか。

#### 事務局（流山市）

江戸川台駅の東側は流山ぐりーんバスのルートがある。乗車率がよいルートである。江戸川台駅の西側は京成バスが走行しているが、そこは市街化区域であり人口も多い。ただし、その更に西側は市街化調整区域であり、人口は少ない状況である。公共交通を運行するにあたってはある程度の人口密度が必要になるため、以前運行していた流山ぐりーんバスの美原循環ルートは変更せざるを得なかったと考えている。

#### 加藤会長（名古屋大学）

今回は住宅の張り付きと地形の勾配を考慮し、それぞれの地域にどれくらいバスサービ

スが提供できているか検討するということによかったか。

#### 事務局（社会システム）

地域の勾配や道路ネットワークを加味した上で、例えば最寄り駅までバスでの所要時間や徒歩での所要時間を算出する、というような分析は実施する。

#### 加藤会長（名古屋大学）

その分析により、相対的に弱いエリアは洗い出されてくるので、バスでカバーしなければいけないエリアもある程度は抽出できるのではないかと。それで挙がってこなくとも市民アンケートで探り出せるかどうか、また一体どこへ行きたいのか、来てほしいのかを合わせれば、どこへ引っ張っていけばよいかが見えてくるのではないかと。今困っているのは、具体的に何をするのに困っているのか。

#### 志賀委員（流山市観光協会）

北部地域では物流倉庫が多く立地してきており、雇用を生み出そうとしている。また、高齢化率が上がってきているので、自家用車に乗らない人も増えてくる。そのようなニーズに対応していくというふうを考えてよいのか。

#### 加藤会長（名古屋大学）

変えていかなければ、バスルートも存続しないため、変えていかなければいけない。

#### 志賀委員（流山市観光協会）

北部地域のバスルート上に高校があるが、高校生はあまり利用していないのではないかと。徒歩で学校に通っている学生が多いため、ニーズをきちんと調べてほしい。市民に向けても周知して欲しい。

#### 加藤会長（名古屋大学）

流山ぐりーんバスは通学に利用されるケースは多いのか。

#### 事務局（流山市）

江戸川台西ルート上に流山北高等学校がある。通学定期券はないので、どれくらい利用されているのかは分からないが、朝の通学時間帯の利用者が多いことは乗降調査等で確認している。

#### 加藤会長（名古屋大学）

通学については駅からきちんと行けるか、また時間帯については確認をしておいたほう

がよい。

#### 事務局（流山市）

流山ぐりーんバスは、朝は6時台、夕方は21時まで運行しているので、沿線であれば通学時間帯でも利用してもらえるのではないかと。

#### 加藤会長（名古屋大学）

流山ぐりーんバスだけではなく、流山市を運行しているバス全てが対象である。

#### 事務局（流山市）

データが手元にあるわけではないが、流山市を運行しているバスは比較的、朝夕の本数が多く、日中は少ない傾向にあるので、通学でも利用されやすいと考えている。

#### 加藤会長（名古屋大学）

各路線の特性を確認しておいたほうがよい。事務局として、特に聞いておきたいところはあるか。

#### 事務局（社会システム）

市内での移動において、どこからどこへの移動が多いのか知りたい。

#### 志賀委員（流山市観光協会）

会議等は市役所周辺で行うことが多いが、北部からのアクセスは良くない。

#### 加藤会長（名古屋大学）

南流山駅や流山おおたかの森駅等へはバスがアクセスしているが、確かに行先は少ない。ただ、ここ（市役所）に来なくてはならない頻度はあまり多くないのではないかと。

#### 志賀委員（流山市観光協会）

市としても本町と運河で観光イベントを実施している。特に本町に来てもらえるように動いているが、北部からは祭り等にも行きにくいことが多い。

#### 郡司委員

行こうと思えば、電車乗り継いで行く。南柏駅から幸谷駅で乗り換えて来ている。必要だと思えば、行くと思う。

#### 加藤会長（名古屋大学）



市役所周辺が行きにくいのか、それとも流山おおたかの森駅や南流山駅などで乗り継げればよいのか。現状で利用は多くない。流山市のための路線が少ないからこのようになっていいる。市内での移動で、どこに最も行きたいのか整理する必要がある。

#### 田中委員（ながれやま子育てコミュニティ なこっこ）

特にバスの情報が分からないことが多い。子育て世代の人は車に乗らない人も多く、バスの情報は欲しいと思うが、分かりにくいので利用しないことが多い。西深井へ定期的に行くことがあり、これまでバスルートはないと思っていたが、今日の資料を見ると通っていることを知った。もう少し情報がまとまっている冊子があればよい。

#### 加藤会長（名古屋大学）

複数の鉄道会社やバス会社が存在しており、それぞれが情報を出しているので、流山市全体の交通マップがない。現地で他事業者間の乗換えが可能であることを知ることもある。全部分かることは困難でも、主要なルートは分かるようにしたほうがよい。バスでできることはバスで、バスでできないところはタクシーとなっていく。

#### 事務局（流山市）

バスルートの情報提供はきちんとできていないと感じている。

#### 志賀委員（流山市観光協会）

よく路線が分からないという意見があったが、バス路線のアプリの開発は考えているか。

#### 事務局（流山市）

自前のアプリはお金がかかるので、検討していない。民間の検索サイトでバスの情報も出てくる。目的地検索を上手に行えば、民間の検索サイトで調べられると考えている。また流山市としては、スマホを使えない人もいるので、地図で分かりやすくするなどのことは市で行うべきだと考えている。

#### 加藤会長（名古屋大学）

（民間の検索サイトでルート検索を実演しながら）このように鉄道だけでなく、バス路線も含めて検索ができる。検索ができることの情報提供をしていく必要がある。どこで検索できるか整理しているのか。

#### 事務局（流山市）

把握していない。

梅木委員（流山市身体障害者福祉会）

私は向小金に住んでいる。名都借跨線橋が拡張されると、南側から北側へのアクセスが良くなる。流山ぐりんバスや東武バスも利用しやすく、また、バスが通りやすくなる。

加藤会長（名古屋大学）

東部地区については、勉強会などでよく承知している。

事務局（社会システム）

本日のまとめと今後の作業として、地域ごとにどこが不便であるかが可視化できていないので、駅や主な公共施設までどこが不便であるか分析しているところであるため、次回の協議会に示す予定である。

～事務局より、今後の予定について説明を行った。～